

DMoney for PalmOS Deluxe/Smart 取り扱い説明書

2004 年 5 月

試用期間に関して DMoney は、14 日間試用できます。試用期間中は、機能に制限なく利用できますが、試用期間を過ぎると、支出入の記録など、一部の機能が利用できなくなります。注意して下さい。

Smart バージョンに関して Smart バージョンでサポートされていない機能には、説明書きに「**Smart**」が付いています。

製品購入に関して 製品購入に関する詳しい情報は、添付の「送金方法のご案内」か、ホームページ (<http://www.dcollections.com/>) をご覧下さい。

Copyright© 1997-2004 D COLLECTIONS All rights reserved.

<http://www.dcollections.com/>

目次

インストール	5
メモリー空き容量の確認	5
インストールする	5
起動	5
基本画面	6
日画面	6
週画面	6
月画面	6
集計リスト画面	7
購入品目リスト画面	7
DMoney の初期設定	8
全体の設定ダイアログ	8
日画面の表示の設定ダイアログ	9
週画面の表示の設定ダイアログ	10
購入品目リスト画面の購入品目の設定ダイアログ	10
支出入の記録・編集・削除	11
支出入の記録	11
支出入の編集	11
支出入の削除	12
購入品目の記録・編集・削除	12
購入品目の記録	12
購入品目の編集	12
購入品目の削除	13
日誌の記録	13
日誌の記録	13
日誌の編集	13
日誌の削除	13
残高を集計する	13
レポート機能を活用する	15
集計画面	15
年間集計	15
クレジットカード集計	16
不要データを整理する	17
口座管理	18
口座の作成	18

8.2 口座の編集	18
口座の削除	19
テンプレート機能を活用する	19
テンプレートの作成	19
テンプレートから入力	19
テンプレートの削除	19
サポート	19

DMoney ソフトウェア使用許諾契約書

1.著作権

本ソフトウェア製品（以下、本製品）は、作者の傍島康雄（以下、作者）が開発した著作物であり、作者は所有、改編、複製、頒布、販売などに関するすべての権利を所有します。本製品は、日本および各国の著作権法により保護されており、使用許諾が必要です。本製品のプログラム、付属マニュアルなどの文書、および本製品のコピーについての著作権は、作者が有するもので、本製品は著作権法および国際条約の規定によって保護されています。お客様は、上記再配布の条項以外の状態で、本製品付属のマニュアルなど文書を複製することはできません。

2.使用許諾の範囲

本製品のライセンスは、お客様が所有するコンピュータ上で、お客様ご自身が使用する場合のみ与えられます。従って、複数場所でご利用になる場合でも、お客様ご自身が使用するのであれば1つのライセンスで利用できます。逆に、複数のユーザーでご利用になる場合は、ユーザーの数だけライセンスを取得していただく必要があります。何らかの不正な手段や、プログラムの解読などによって本製品を入手し、継続使用している場合は、本文章に定める使用許諾を破り、違法コピーを利用しているものとみなし、法的手段による処罰の対象となります。

3.契約の終了

有効期限が終了した場合、またはお客様が本契約書の条項および条件に違反した場合、お客様は本製品の使用を中止しなければなりません。本契約が終了した場合、お客様は、本契約に基づき作者より提供された本製品のコピーを全て消去し、これに関連する全ての印刷物や資料など一切のものを破棄しなければなりません。

4.複製・改編の制限

お客様は、ご自身のバックアップ目的でのみ本製品を複製できます。複製された製品を第三者に使用させることはできません。お客様は、本製品をリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。

5.無保証

本製品プログラムおよび付属ドキュメントは、なんら保証もない現状有姿のままで提供されるものです。

お客様による本製品プログラムおよび付属ドキュメントのいかなる使用についても、そのリスクはお客様が負うもので、作者は責任を負うものではありません。作者は、その内容についても、明示であると黙示であるを問わず、一切保証をするものではありません。本ソフトウェア製品およびドキュメントの使用もしくは機能から生じる全ての損害は、お客様が負担しなければなりません。

6.責任の制限

作者は、本ソフトウェア製品およびドキュメントの使用または使用不能から生じる一切の損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失またはその他の金銭的損失など）に関して一切責任を負いません。たとえ、作者からこのような損害の可能性について知らされていた場合でも同様です。

7.使用許諾の期間

本使用許諾は、本製品をインストール、コピー、または使用することにより、お客様は本契約書の条項に拘束されることに承諾されたものとします。本契約書の条項に同意されない場合、作者はお客様に本製品のインストール、コピー、使用のいずれも許諾できません。また、本製品は使用を許諾されるもので、本体および著作権を販売されるものではありません。

本契約は、日本国法に準拠するものとします。

インストール

メモリー空き容量の確認

DMoney を PalmOS 搭載機にインストールするには、約 250KB のメモリー空き容量が必要です。

[ホーム画面]の[アプリケーション]メニューの[情報]を選択し、メモリー空き容量を確認してください。

十分な空きメモリーがない場合は、不要なアプリケーションやデータを削除してメモリーの空き容量を確保して下さい。



情報ダイアログ

インストールする

PalmOS 搭載機に、DMoneyDX.prc (Smart バージョンは、DMoneySMT.prc) と MathLib.prc を Hotsync でインストールします。同梱の MathLib.prc をインストールしないと、支出入記録画面の電卓が正しく動作しないので、必ずインストールするようにして下さい。

起動

PalmOS 搭載機の画面左下の[ホーム]ボタンをタップし、ホーム画面を開き[DMoney]アイコンをタップすると DMoney が起動します。

DMoney をアプリケーションボタンに割り当て、DMoney を起動した状態で、そのボタンを押すと、表示画面を日→週→月→集計リスト→購入品目リストの順で切替えることができます。



ホーム画面

日画面

Smart バージョンでは、購入品目リスト機能が利用できないので、支出入のみが表示されます。

03/8/10		日 月 火 水 木 金 土	
購入品目	□3 プリンタ	1	20,000
	□3 ケーブル	1	1,200
支出入	6:09 書籍や雑誌	¥	-520
	6:10 未定義	¥	-120
	6:10 外食	¥	-980
操作アイコン	新規 移動		TP-1,700

週画面

画面下部の操作アイコンで、画面の移動など主な操作を行います。

2002年12月		
	5,000 -3,120	
8(日)		11(水)
9(月)		12(木)
プリンタ1 ケーブル2	-1,420	13(金)
10(火)		14(土)
移動		460

月画面

画面下部の操作アイコンで、画面の移動など主な操作を行います。

[illegible]

6

集計リスト画面

集計リスト画面は、指定された期間のカテゴリ、取引先、取引種別ごとに集計を行います。

画面下部の操作アイコンで、画面の移動など主な操作を行います。

02/12/1~02/12/31 ▼ カテゴリ		
未定義	1,760	56
交通費	0	0
外食	-980	-31
主食	0	0
書籍や雑誌	-320	-10
電話電報代	0	0
電気代	0	0
ガス代	0	0
上下水道代	0	0
衣類	0	0
▼ 合計 460 14		
[戻る] [一覧] [目録] [期間...]		

集計リスト画面

購入品目リスト画面

購入品目リスト画面には、購入項目として記録された物がリスト形式で一覧表示されます。

画面下部の操作アイコンで、画面の移動など主な操作を行います。

購入品目リスト ▼ すべて(4)		
<input type="checkbox"/> 1	キーボードカバー	1,500
<input type="checkbox"/> 3	ケーブル	2,000
<input type="checkbox"/> 3	プリンタ	20,000
<input type="checkbox"/> 5	ケーブル	1,200

§ Smart

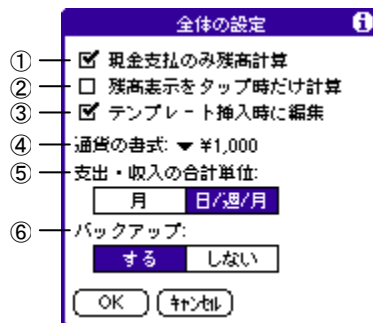
[戻る] [一覧] [目録] [新規] [詳細...] [集計] あ

購入品目リスト画面

DMoney の初期設定

全体の設定ダイアログ

[全体の設定]ダイアログを開くには、本体の[メニュー]ボタンをタップし DMoney の[ツール]メニューの[全体の設定]を選択します。



全体の設定ダイアログ

①残高の計算方法

チェックボックスをオンにすると、取引種別のタイプが現金以外の支出は、残高計算に含めません。

②残高計算のタイミング

チェックボックスをオンにすると、画面右下の残高・支出集計・収入集計表示部をタップした時だけ再計算を行います。チェックボックスをオンにすると、集計処理をリアルタイムで行わないので、画面の切替え時や支出入記録時の動作が速くなります。

③テンプレート選択時の動作

チェックボックスをオンにすると、テンプレートを使って支出入を記録する際に、編集ダイアログを表示します。

④通貨の書式 **\$ Smart**

通貨の表示書式を選択します。¥1,000.00 を選択すると、小数点以下第二位まで表示されます。

⑤支出・収入の合計単位

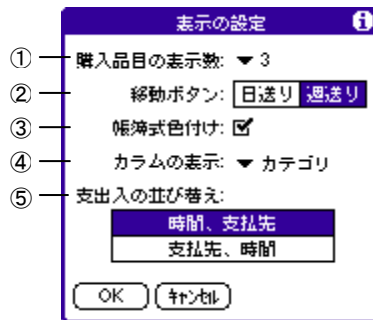
日、週、月画面で表示されている、支出・収入の合計を月単位で合計して表示するか、日/週/月単位で集計して表示するかを指定します。

⑥データのバックアップ

HotSync 時にデータのバックアップを行うかを指定します。

日画面の表示の設定ダイアログ

日画面の[表示の設定]ダイアログを開くには、日画面に移動して、本体の[メニュー]ボタンをタップしDMoneyの[ツール]メニューの[表示の設定]を選択します。



表示の設定ダイアログ

①購入品目の表示数

日画面の一覧表に表示する購入品目の数を設定します。

表示数は、3～5までの間で設定できます。非表示を選択すると、日画面の一覧表には、購入品目が表示されません。

Smart

②移動ボタン

曜日の左右に表示される矢印の移動ボタンの動きを設定します。

[日送り]を指定すると、ボタンをタップした時に日ごとに移動します。[週送り]を指定すると、週ごとに移動します。

③帳簿式色付け

日画面のリストを色分けして表示するかを設定します。

チェックすると、リストは色分けして表示されます。

④カラムの表示

支出入リストの赤い枠のカラムに表示する項目を設定します。

6:09	書籍や雑誌	¥	-520
6:10	未定義	¥	-120
6:10	外食	¥	-980

コメントを選択すると、支出入に記録したコメントが表示されます。

⑤支出入の並び順

日画面の一覧に表示される項目の並び順を設定します。

[時間、支払先]にすると、時間を第一キーに、支払先を第二キーにして並び替えを行います。[支払先、時間]にすると、支払先を第一キーに、時間を第二キーにして並び替えを行います。

週画面の表示の設定ダイアログ

週画面の[表示の設定]ダイアログを開くには、週画面に移動して、本体の[メニュー]ボタンをタップし DMoney の[ツール]メニューの[表示の設定]を選択します。



表示の設定ダイアログ

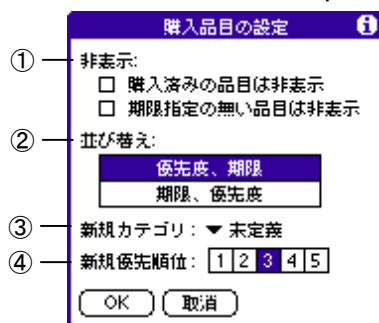
始まりの曜日

週画面の始まりの曜日を指定できます。

この指定は、他の日、月画面の始まりの曜日とは別に指定できません。

購入品目リスト画面の購入品目の設定ダイアログ

購入品目リスト画面の[購入品目の設定]ダイアログを開くには、購入品目リスト画面に移動して、本体の[メニュー]ボタンをタップし DMoney の[ツール]メニューの[購入品目の設定]を選択します。§ Smart



購入品目の設定ダイアログ

①非表示項目

[購入済みの品目は非表示]をチェックすると、購入済みの項目は購入品目一覧に表示されません。

[期限指定の無い品目は非表示]をチェックすると、期限の設定されていない項目は、購入品目一覧に表示されません。

②並び順

購入品目リストの表示される項目の並び順を設定します。

[優先度、期限]に設定すると、優先度を第一キーに、期限を第二キーにして並び替えを行います。[期限、優先度]に設定すると、期限を第一にキーに、優先度を第二キーにして並び替えを行います。

③新規カテゴリ

購入品目を記録する時に、初期値として設定されるカテゴリを指定します。

④新規優先順位

購入品目を記録する時に、初期値として設定される優先順位を指定します。

支出入の記録・編集・削除

支出入の記録

日画面の下に表示されている[新規]ボタンをタップすることで、支出入の記録が行えます。

いきなり数字を入力し始めると、支出入記録画面になり、金額の入力が行えます。金額欄にフォーカスのある状態で、リターンを入力すると[OK]をタップした時と同じ動作をします。

支出入の編集

① 金額: [-] [+] [0] [電卓]

② カテゴリ: ▼ 未定義

③ 取引先: ▼ 指定なし

④ 取引種別: ▼ 指定なし

⑤ プライベート: ☐

⑥ [日付] 日時: [03/8/10] [7:08]

⑦

[OK] [キャンセル] [削除...] [コメント] あ

支出入の編集ダイアログ

①金額

金額を入力します。

支出の場合は[-]ボタンを、収入の場合は[+]ボタンを選択します。金額右側の電卓アイコンをタップすると、電卓が利用できます。

②カテゴリ

記録する項目に、カテゴリを指定する場合は[カテゴリ]をタップしてリストから項目を選択します。

③取引先

記録する項目に、取引先を指定する場合は[取引先]をタップしてリストから項目を選択します。

④取引種別

記録する項目に、取引種別を指定する場合は[取引種別]をタップしてリストから項目を選択します。

⑤プライベート

記録する項目をデータ保護に設定したい場合は、チェックします。

⑥日時

新規の場合は、今日の日付と現在の時刻が設定されます。それぞれ、タップすることで、変更できます。

⑦コメント

記録する項目にコメントを追加したい場合は、記述します。

[電卓] をタップすると、指定したカテゴリの中で、過去に入力したコメントがポップアップ表示され、選択するとコメントとして記録できます。

支出入の編集

日画面で、編集したい項目の時刻の部分の部分をタップすると、編集画面が表示されます。

金額部分をタップすると、金額の編集が行えます。

支出入の削除

日画面で編集したい項目の時刻の部分をついて、編集ダイアログが表示されたら、[削除]ボタンをついて。削除を確認するメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをついて。

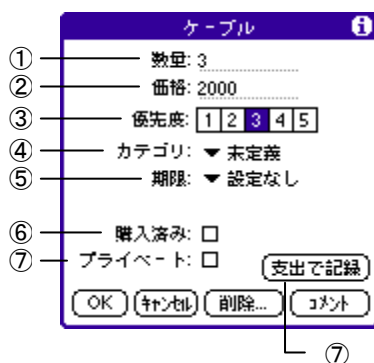
購入品目の記録・編集・削除

購入品目の記録

購入品目リスト画面の下に表示されている[新規]ボタンをついてすることで、購入品目の記録が行えます。いきなり文字を入力し始めると、購入品目の記録が始まります。§ Smart

購入品目の編集

購入品目リスト画面で、編集したい項目をついて、画面下に表示されている[詳細]ボタンをついて。§ Smart



購入品目の編集ダイアログ

①数量

購入予定の数量を入力します。この数量は、後から変更できます。

②価格

価格を入力します。この項目は、後から変更できます。ただし、0 円のままでは、[支出で記録]コマンドが実行できません。

③優先度

記録する購入品目の優先度を指定します。

数字が小さくなるほど、優先度が高くなることを意味します。

④カテゴリ

記録する項目に、カテゴリを指定する場合は[カテゴリ]をついてリストから項目を選択します。

⑤期限

記録する項目に、購入期限を設定する場合は指定します。

⑥購入済み

購入済みの項目はチェックします。

⑦プライベート

記録する項目に、データ保護を設定したい場合は、チェックします。

⑧支出で記録

購入済みの品目を支出として記録する場合に使用します。

このコマンドを実行すると、数量×金額を支出金額として記録します。

購入品目の削除

購入品目リスト画面で編集したい項目をタップして、画面下に表示されている[詳細]ボタンをタップします。編集ダイアログが表示されたら、[削除]ボタンをタップします。削除を確認するメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをタップします。§ Smart

日誌の記録

DMoney は、簡単な手順で記録できる日誌機能を備えています。

例えば、支出入の記録と共に、その日あったことを書き込んでいくことで記録として残すことができます。§ Smart

日誌の記録

日画面に移動して、本体の[メニュー]ボタンをタップし DMoney の[項目]メニューの[日誌の記録]を選択します。メモ記録画面が表示されたら、日誌を書き込み[終了]ボタンをタップします。§ Smart

日誌の編集

日画面の一覧で、◆をタップします。編集し終わったら[終了]ボタンをタップします。§ Smart

日誌の削除

日画面の一覧で、◆をタップします。

編集ダイアログが表示されたら[削除]ボタンをタップします。削除を確認するメッセージ表示されるので、[OK]ボタンをタップします。§ Smart

残高を集計する

手持ちの金額と DMoney の残高が合わなくなった場合に、この機能を利用します。

[残高の調整]ダイアログを開くには、日画面に移動して、本体の[メニュー]ボタンをタップし DMoney の[ツール]メニューの[残高の調整]を選択します。

手持ちの金額を入力して[OK]ボタンをタップして下さい。"-残高調整
-"項目として記録されます。

02/12/22 ◀ 日 月 火 水 木 金 土 ▶

☐ 3 ケーブル 1

☐ 3 プリンタ 1

残高の調整 ⓘ

02/12/22 に項目が記録されます。

調整前: -1,620

調整後: - + 0

OK 取消

残高の調整ダイアログ

レポート機能を活用する

DMoney には、様々なレポート機能が搭載されています。レポート機能を活用すれば、自分の財政状況を様々な角度から把握でき、分析することができます。

集計画面

指定された期間のカテゴリ、取引先、取引種別を集計して表示します。



集計画面

年間集計

指定された年の月ごとの支出入状況を見ることができる画面です。

[年間集計]を開くには、日画面に移動して、本体の[メニュー]ボタンをタップし DMoney の[ツール]メニューの[年間集計]を選択します。

①

年間集計 ▼ 2002

	収入	支出
3月	0	0
4月	0	0
5月	0	0
6月	0	0
7月	0	0
8月	0	0
9月	0	0
10月	0	0
11月	0	0
12月	0	1,620
終了	0	1,620

② ③

年間集計画面

①年

集計する年を指定します。

一覧には、選択した年の基準にして前後2年前間が表示されます。

②収入合計

月毎に表示されている小計の合計が表示されます。

③支出合計

月毎に表示されている小計の合計が表示されます。

クレジットカード集計

この画面で、クレジットカードで支出した合計と未払い合計を確認できます。

[クレジットカード集計]を開くには、日画面に移動して、本体の[メニュー]ボタンをタップし DMoney の[ツール]メニューの[クレジットカード集計]を選択します。

④

カード集計 ▼ すべて

<input checked="" type="checkbox"/>	03/6/16 電話電報代	-3,200
<input type="checkbox"/>	03/6/16 外食	-12,800

合計: 16,000 未払い: 12,800

終了 ▼ すべて

② ③

カード集計画面

①集計対象カード

集計したいクレジットカードを選択します。

[すべて]を選択すると、クレジットカードで取引した支出入すべてが集計の対象になります。

②合計

カードで支払いを行った項目の合計と、未払いのカードの合計が表示されます。

③表示方法

[すべて]を選択すると、取引種別がカードの項目すべて表示します。[支払済み]を選択すると、支払済みの項目だけを表示します。[未払い]を選択すると、支払済みのチェックがされていない項目だけを表示します。

③支払済み

チェックボックスをチェックすると、支払済みとして記録されます。

不要データを整理する

記録した項目が増えると、使用メモリーが増えて、処理に時間がかかるようになります。

古い項目を削除することで、過去の項目を削除しつつ残高の値を維持できるので、処理時間を短縮できます。

[古い項目の削除]ダイアログを開くには、日画面に移動して、本体の[メニュー]ボタンをタップし DMoney の [項目]メニューの[古い項目の削除]を選択します。



古い項目の削除

①削除の対象

指定日までの項目を削除します。

②削除の方法

[すべて削除]を選択すると、指定した日付までの項目をすべて削除します。[カード払い以外を削除]を選択すると、指定した日付までの項目で、取引種別がクレジットカード以外の項目を削除します。[未払いカード以外を削除]を選択すると、指定した日付までの項目で、未払いの取引種別がクレジットカードで、支払が完了していない項目以外を削除します。

③残高の維持

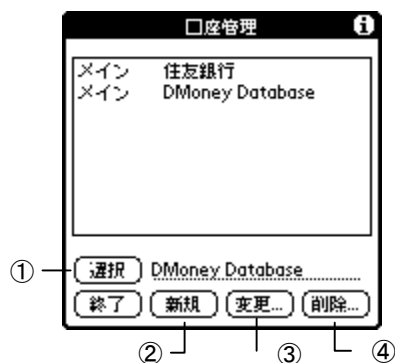
現状の残高を維持する場合は、[する]を選択します。残高を維持しない場合は、[しない]を選択します。

口座管理

DMoney は、複数の銀行口座を切替えて利用できます。

一度に扱える口座は一つだけなので、複数の口座で運用する場合は、この画面で切替えながら使用することになります。

銀行口座に関連するデータベースは、外部メモリーへ作成することも可能です。(VFS Manager に対応したメモリーが必要です) 外部メモリーに作成された口座データベースは、選択されると本体メモリーでコピーされて使用可能になります。この機能を上手く利用すれば、本体メモリーを圧迫することなく複数の口座を作成し管理することが可能になります。§ Smart



口座管理ダイアログ

①選択

一覧から選択した口座に切替えます。

外部メモリーに作成した口座を切替える場合は、本体メモリーに空きがないと切替えできないことがあります。

選択中している口座は[選択]ボタンの横に表示されます。

②新規

口座を新しく作成します。

口座を作成する際に、場所を[メイン]以外に指定すると、外部メモリー上に口座データベースが作成されます。普段は、あまり利用しない口座は、外部メモリーに作成することで、本体メモリーの使用量を抑えることができます。

③変更

作成した口座を変更します。

[場所]と[初期残高]は、変更できないので注意して下さい。

④削除

作成した口座を削除します。

このコマンドを実行すると、元に戻すことが出来ないので、注意して下さい。

口座の作成

口座を新しく作成する場合は、[新規]ボタンをタップします。

8.2 口座の編集

口座を編集する場合は、編集したい口座を選択して、[変更]ボタンをタップします。

口座の削除

口座を削除する場合は、削除したい口座を選択して[削除]ボタンをタップします。削除を確認するメッセージが表示されたら[OK]ボタンをタップします。口座を削除すると、元に戻すことが出来ないなので、注意して下さい。

初期口座の DMoney Database は、削除できません。

テンプレート機能を活用する

頻繁に記録する項目は、テンプレートとして保存することで記録の手間を省くことができます。

テンプレートの作成

テンプレートは、既に記録されている支出入を元に作成を行います。

日画面の一覧から、テンプレートにしたい支出入の時刻をタップして、編集画面に移動します。

編集ダイアログが表示されたら、[項目]メニューの[テンプレートとして保存...]を選択します。

[テンプレート名の編集]ダイアログが表示されたら、テンプレートの名前を入力して、[OK]をクリックします。

テンプレートから入力

日画面の[Tp]ボタンをタップします。

ポップアップメニューから、入力したい項目を選択します。全体の設定で、[補完の問い合わせをする]をチェックしている場合は、ポップアップメニューから項目を選択した時に、支出入の編集ダイアログが表示されます。

テンプレートの削除

日画面の[項目]メニューの[テンプレート...]を選択します。

テンプレートダイアログが表示されたら、削除したい項目を選択して[削除]ボタンをタップします。削除の確認するメッセージが表示されたら[OK]ボタンをタップします。

サポート

DMoney についてサポートが必要な場合は、DMoney を購入して頂くようお願い申し上げます。

DMoney のサポートは、ホームページのフォーラムで行っています。詳しくは、下記の場所を参照して下さい。

ホームページ <http://www.dcollections.com/>

電子メール support@dcollections.com